

躍進

3

VOL.

YAKUSIN

株式会社加藤組社内報「躍進」1986・Vol.3

発行/株式会社加藤組

男鹿市脇本脇本字向山18の6 TEL(0185)25-2235(代)

発行日/61年5月1日 印刷/秋田協同印刷株式会社



株式会社 加藤組

光飯商事株式会社 日本アスコン株式会社
秋田ブロック工業株式会社 秋田建設運輸株式会社

高速化にむけてスタート!

地方道改良工事 脇本バイパス

脇本 ↔ 船川間



脇本～船川間延長 1,584m
使用含材量 1万t
(日本アスコン年間出荷量の $\frac{1}{4}$)
現場代理人(永田 功)

新年度にあたって



会長 加藤 義孝

徳川家康のいましめの言葉の一つに、「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し」というのがありますが、これは人生というものが、その年代や職業あるいは社会的地位においての責任があり、道程が遠いので、不断の努力と忍耐を以てしなければ、これを立派に歩み通すことができないというたとえであります。

あと十四年で「二十一世紀」を迎えるわけですが、これはただたんに数字が一つ変わるという単純なことではありません。現在、日本がかかえている諸問題を解決せずにごそうとすれば、二十一世紀で日本の国は滅びるといっても過言ではないほど、重要な時期であることを認識すべきだと思います。

経済的に急成長を遂げた日本に対する世界各国の期待は大きく、それゆえに多くの問題をかかえているのです。行財政改革や教育改革をしなればならないのも、何も成されずにいたならば、日本はこれからどう進み、どうなっていくのであろうか。来るべき、新しい世紀に向けて、日本はこのままではいけない。もっと根本的に、国としてのあり方、進路を正しい方向に軌道修正しなければ大変な事態になるということ、難事業である改革を討議し合っておるものです。

私は昨年欧州視察をしてきましたが、その国々の歴史や伝統には素晴らしいものがありますが、その反面「先進国病」と言われる病いが、深刻化していることも感じてまいりました。そうした病気に、我国が冒されない為にも対策をしなければならぬものと痛感しております。

よく「企業は人なり」と言いますが、国もまた、同様であると思います。精神の荒廃した人間が、作り得るものは、荒廃した国でしかあり得ません。これからも今迄以上の日本として存続するためには、次代を担う諸君が、人間的にも成長し、自覚を持って引き継いでいける活力ある社会を造っていくのが、今、必要なことであると思います。

新年度にあたり、各自が、いま世界はどうなっているのか、日本は、秋田県そして男鹿市の現状はどうであるのかを、正確に把握し、お互に尊重し、理解をし、そして助けあいの精神を基本として、一人一人が協力しあい、不断の努力と忍耐を以て行動さえすれば、将来の道もひらかれるものと確信しています。

「事業をするのに必要なのは、する力ではなく、それをやりとげるといふ決心」です。心を新たに頑張られんことを祈念致します。

新・入・社・員・紹・介

「よろしくお願ひします。」7人のフレッシュユマン勢揃い!

石川 稔

住所 男鹿市戸賀加茂青砂
二田三郎様方
生年月日 昭和40年11月20日
出身校 秋田工業高等専門学校
好きな言葉 初心忘れるべからず
しゅみ ドライブ



私は、中学で卓球、高専でハンドボール部に所属し、暗い青春時代を過ごしてきました。でも、なぜか笑い上戸です。これからは、明るい職場で新社会人として、あらゆることに挑戦したいと思っています。

佐藤雅宣

住所 男鹿市船越前野63-2
生年月日 昭和38年6月10日
出身校 金沢工業大学
好きな言葉 ONE for all, all for one
しゅみ ドライブ



スポーツは、見るよりやるほうが好きで特にラグビーは大好きであります。

新入歓迎会があると思いますが酒は少し苦手ですので先輩方あまり酒を勧めないようお願いいたします。

中村義宜

住所 男鹿市船越きつね森50-2
二田三郎様方
生年月日 昭和38年11月23日
出身校 日本大学生産工学部土木工学科
好きな言葉 忍耐
しゅみ 読書



兄有宣に続いてお世話になる事になりました。趣味は歴史に関する書籍を読むこと。特技は、球技ならば殆どこなします。酒は下戸で付き合い合程度です。粘り強い性格ですが早合点をして失敗する事も少々。御指導を宜しくお願ひ致します。

若い力で新しい未来を拓こう



株式会社 加藤組
副社長 加藤 義康

北国の厳しい冬もいつしか去り、やわらかな陽光満つる春となりました。この度、皆さんは加藤組に入社され実社会に第一歩を踏み出されることになりましたが、入社にあたって皆さんは輝く希望と大きな抱負で胸をふくらませていることと思います。

春は、われわれ建設業界にとっても新しいスタートの季節、全社員いままで以上に事業に邁進する決意を新たにする時です。われわれはフレキシブルな若さあふれる皆さんの入社を心から歓迎すると共に、当社でのこれからの活躍を大いに期待しております。

さまざまな分野で変化の激しいこれからの時代を創ってゆくのは若い力であり、若い人材です。既成概念にとらわれることなく、広い視野を持ち、柔軟に思考し、常にチャレンジジャー精神を忘れず何事にも全力を尽くしてあたること、これが若者の特権であり、その力を皆さんは十分に持って

いるものと確信しております。さて、わが加藤組は建設業という仕事を通して社会に貢献しているわけですが、そもそも人間には社会的欲求があるとか、人間は社会的動物であるという言葉が耳にしたことがあるかと思えます。それは、人間が生きてゆくには孤独な生き方というものには例外であって、本質的には社会の一員となって果たすべき役割を担い、その役割を十分に果たすことによって社会の進歩に貢献すると共に、自らが成長することに意義があるということにはほかなりません。われわれは職業を通じて、社会に参加し、職業人としての誇りを持ってその責務を果たすことによって自らが高められると同時に、社会を構築する「社会人」となり得るのです。

皆さんがこれまで学校で学んできたことは全て基礎学であり、これからはこれを仕事に、生活に生かす応用学の段階に入ります。そのためいろいろな壁につきあたることもあるでしょうが、そんな時こそ今まで培った強い意志と健全な精神を発揮し、新たな道を辟くチャンスとしようではありませんか。社会へ出たら毎日が試験の連続だとはよく言われることですが、その試験の点数を決めるのは、あくまでも自分自身の努力です。当社とその関連企業には、皆さんの先輩がたくさんおられますが、その一人一人が自己実現のため日夜頑張っています。皆さんも諸先輩に負けぬよう自己研鑽を怠らず日々改善の心がまえで目標に邁進してください。皆さんが努力し続ける限り、当社は全力をあげて皆さんを応援します。われわれの望むものは社業の発展と共に、社員一人一人の繁栄です。

今日、日本経済は低成長時代に突入し、厳しい時代を迎えています。逆にくこのような時こそ好機ととらえ、一致団結して明るい未来を創るべき時です。わが加藤組の力と団結は皆さんを迎えてますます強くなるものと期待し、入社歓迎の言葉といたします。

児玉和子 澤木晶子 原田康文 山下 伸

住所 男鹿市船川港比詰 195	住所 男鹿市船川港比詰 111の1	住所 男鹿市船川港比詰 111の1	住所 男鹿市男鹿中山町字深田
生年月日 昭和42年12月20日	生年月日 昭和43年3月23日	生年月日 昭和42年11月23日	生年月日 昭和38年5月10日
出身校 秋田県立男鹿高等学校	出身校 横浜市立横浜商業高等学校	出身校 秋田県立秋田工業高等学校	出身校 札幌大学経営学部経営学科
好きな言葉 いつまでもあつた親と金	好きな言葉 ありがたう寝る事	好きな言葉 やすらぎ魚釣り	好きな言葉 信頼
しゅみ 食べる事	しゅみ 寝る事	しゅみ 魚釣り	しゅみ パチンコ



私は、中学校では、陸上競技と野球、高校では、陸上競技、大学では、アルバイトにせいをだしていました。人と人とのふれあいを大切にしています。穴掘りだったら負けません。

この度お世話になることになりました原田康文です。高校に在学中は軟式野球部に所属していました。趣味は魚釣りです。

今回、土木部に勤務することになった中で、一番年下となりますが、みなさんに負けないよう、一生懸命がんばります。

この四月から総務部で勤務することになりました澤木晶子です。横浜から来たために言葉がわからなくて二度も三度も同じことを聞いてしまいかもしれませんがその時は許して下さい。

この春、男鹿高校を卒業した児玉和子です。緑に囲まれた丘からは海の見える、環境の良い場所で学生生活を過ごして来ました。社会人となった今、学生気分を捨て、会社の為に精一杯尽力し、少しでも役に立てるよう一生懸命がんばって行きたいと思っています。

新年度の抱負

新年度を迎えて「今期もはりきるぞ」と
みなさんアツアツムンムンで語ってくれました。



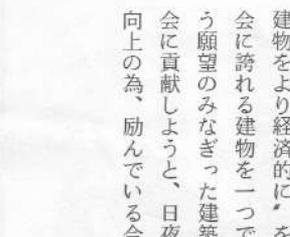
鈴木港灣次長

土木部の一翼を担う港灣課。「人間尊重・安全最優先」の基本方針をよく認識し日頃から、安全第一を部員一丸となり積極的に進めていく所存です。「誰もが主役に」をモットーに日々新たな努力と改善を重ね、会社発展の一因となるべく協調、融和のスクラムを組み厳しい荒波に挑んで参る覚悟です。



村上営業次長

営業部の目的の中に、「情報収集に努め、より多くの工事受注を得るよう営業活動を行なう。」とあります。
地震災害復旧工事、石油備蓄工事と大規模工事の終了した今民間に活力を見いだしたいと思っています。皆様からの情報をもとに今まで以上に活発な営業活動に努め、尚一層会社発展の為、営業部一丸となって頑張ります。



松橋建築課長

建築課として、今年度の目標を、「品質のよい建物をより経済的に」を掲げ、技術者として社会に誇れる建物を一つでも多く建設したいと言う願望のみなきがった建築課軍団と共に、地域社会に貢献しようと、日夜懸命に業務と技術力の向上の為、励んでいる今日です。



鎌田土木課長

今年一月から「住宅相談室」が設けられました。主な業務として、個人住宅建設の情報収集・営業、敷地の販売・斡旋、設計・見積り等です。
住宅や土地に関する相談等がありましたら気軽に私でも、森元次長に御相談下さい。又情報等ございましたら宜しくお願ひします。

会社のメイン部署となるべき土木部の課長とし、工事量の多き人員の配置と苦勞の絶えない日が続いております。
社員には、他の模範となる様自己管理に努める事を期待し、本年度目標でもある、より高い利潤を得る様努力してもらいたいと思っております。これから、工事も多く発注されますが、安全第一を胸にし、工事完成の喜びを皆でわかちあえる様頑張ります。



秋本日本アスコン
秋田工場長代理

六十一年度の秋田工場は省エネルギー対策に力を入れて行きたいと考えております。
その一つとして電力消費、現在の電力を深夜電力に切り換え電力節減を図る。重油の消費も同様、受入骨材の含水比をより少なくし、燃費の節約に務める。これらのコストダウンと少ない人員で最大の効果を上げるよう努力して行きたいと思ひます。



原田住宅相談室長

ここに数年販売価格の据置きと、生産費の増大、又公共事業の沈滞による販売不振のせい、工場内の活気も今ひとつ、盛り上がりません。
品質の良い製品の製造・販売を目標に各自の能力アップを図る様、指導につとめたいと思ひます。



秋田ブロック工業
三浦工場長



米屋日本アスコン
男鹿工場長代理

加藤組の舗装班として一年間働きましたが、会社の組織上、一日も早く準社員、社員と昇格する様頑張りたいと思ひ、日夜努力しています。
誠実に、機敏に、を自分の信念とし、職場にあっては、仕事の充実化をまた、昨年から入った、内の野球クラブで、成績を残す様に努めます。



加藤組土木部舗装班
加藤 忠 義

今年、石油備蓄基地中式タンク本体の生コン打設もあり出荷数量も、前年よりは、多くなると思われますが、こういう時にこそ、備蓄だけにとられず一般の出荷のほうにも同様に力をそそいで、今年度は、無事故、無災害で終えたいと思ひます。



米屋日本アスコン
男鹿工場長代理

研修報告記

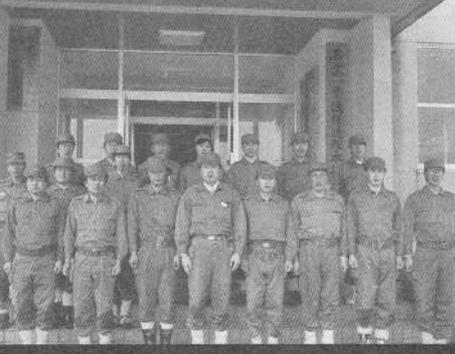
厳寒の候、冬期間の研修として始めて行なわれた、陸上自衛隊土崎駐屯地での研修会は2月12～15日の4日間、伊藤剛樹総務課長を隊長として14名の選抜隊の入隊により実施された。

起床6時30分、朝のラッパの音と共に、重い頭を持ち上げ一日の行動が始まる。

8時の掲旗より、完全に隊員になりきった姿で歩行訓練の場に集合。適格な判断と合礼により進む訓練の有様は、今までの実社会に於ける姿とは別人の如く律々しく思えた。



「整列!!」
ドキドキ緊張するね



研修隊員の行動は厳しく管理されたが、隊長の伊藤課長の指示と行動管理を思えば、並々ならぬ、気苦労があったと思う。以上(第一回隊員・島山正樹)

◇ ◇ ◇

第一回の研修入隊は無事終了したが、引き続き第二回の入隊が予定されている。皆様、ご期待を……。

自衛隊入隊記 61年2月12日～15日 陸上自衛隊土崎駐屯地



第一回隊員 白岩 勝



2月上旬自衛隊体験入隊ということで土崎にある陸上自衛隊に総数15名、3泊4日が入隊しました。

今日の入隊で日本における自衛隊のあり方、またそこで訓練生活している人々の必要性が感じられた。

そして、私が一番感心した



寝ごこちはなかなかいいです。

ファット!!
ファット!!
「最近体がなまってるなあ」

スポーツ

シーズン開幕

今年の目標

- 全県およびよう大会出場
- 加藤杯野球大会優勝

春の雪どけと共に、球音の響きが聞こえると、眠っていた野球小僧たちが、ムクムクと起きだしてくる。

加藤組野球クラブチーム。会社にあるクラブチームでも古く設立された伝統あるクラブ。昨年、使い古したユニフォームを一新し、気持ちも新たに、投・打の伊藤仁と、打・の加藤忠義、守・の渡部邦明の3人を中心とし、今年の目標を、「全県およびよう野球大会出場」、「加藤杯優勝」におき、シリーズに突入する。

今年新たに、2人の新人の加入で、平均年齢の若返りを計り、「のびのび野球」をモットーに、マナーあるチーム作りを目指している。

春の雪どけと共に、球音の響きが聞こえると、眠っていた野球小僧たちが、ムクムクと起きだしてくる。今年はやるぞ!!の声もだいが強くなってきたし、最低でも一つの大会に優勝したい。(伊藤剛樹主将)「いづれにせよ、高校時代のチームメイト落合選手も頑張っているし、伊藤主将の30代のパワーが、大きくチームの浮沈を握る事も確かな事だ」とは外部の声、沢田監督以下19名、今年はやりますよ!!



今シーズンも活躍の期待される 渡部 邦明

試合数	15	投手部門	仁	10試合	4勝3負	3	負	1
勝	9	伊藤	邦明	7試合	4勝2負	4	負	2
負	5	渡部	利幸	2試合	1勝	1	勝	1
引き分け	1	打者部門	1. 加藤忠義	35打数	15安打	打率	429	
勝率	600		2. 渡部邦明	33打数	13安打	打率	392	
チーム打率	311		3. 松橋利幸	23打数	8安打	打率	348	
			4. 永田功	18打数	6安打	打率	333	
			5. 伊東俊博	20打数	6安打	打率	300	
		参考記録	伊藤 満	4打数	2安打	出塁率	625	
			四死球	3	打率	5割		

昨年の成績

日本アスコン男鹿工場

日本アスコン(株)男鹿工場は昭和54年6月に日工傾動型56切ミキサー2基を設置し生コンプラントとして誕生しました。

付帯設備として80t、100tのセメントサイロ、280㎡の骨材サイロ6基などがあり、約2万平方米の構内をもっています。

男鹿工場の特色は、安全と環境美化に対して全員で頑張っていることだと思います。安全に対しては、本社で行なわれる毎月一日の安全集会の他に毎週月曜日のアスコン全員による安全朝礼、又毎朝運転

手を中心にした安全朝礼も行っており、その中から少しづつではありますが、安全意識が全員の気持ちの中に芽ばえてきたように思います。

環境美化に関しては、船木(秀)委員長、鈴木(頼)副委員長を中心に、毎月第三月曜日を環境美化運動日として構内の清掃、ゴミの処理、ガラス磨きなどを協力して行っており、きれいな工場が自慢です。

また安全と環境美化をより推進するために社員を三班に分けてQCサークルを毎月開催しています。テーマを決め

それに対して全員が活発な意見を述べながら、今よりもすばらしい工場にするよう努力しています。

今年5月には石油備蓄基地の生コン打設が開始され、昨年度よりも出荷量が多くなる予想されますが、事務所、プラント、試験室、車輦が加藤組社訓にあるように、協力一致してよりよい品質の生コンを業者に届けるように努力しております。

以上のように加藤副社長を中心としてチームワークが抜群の男鹿工場でした。



(左上から)目黒聖輝・伊東俊博・鈴木浩悦・鎌田定光
三浦久美子
夏井工場長・高橋部長・米屋工場長代理

新製品

マイテイーハウス登場

アキタブロック工業開発
コンクリートユニットハウス



「頑強一徹」

コンクリートだから可能な多様性
組立てわずか60分!!

- | | |
|-------------|---------------|
| (用途) | (特長) |
| 1. 住宅用、物置 | 1. 耐久性に優れている |
| 2. 学校運動用具倉庫 | 2. 耐火性に優れている |
| 4. 売店 | 3. 耐熱性に優れている |
| 5. 危険物収納庫 | 4. 移動組立てが容易 |
| 6. 守衛室 | 5. 塩害に強い |
| 7. ポンプ機械室 | 6. 塗装色自由 |
| 8. その他 | 7. 耐用年数が長い |
| | 8. 工場生産、品質が良い |
| | 9. その他 |

安全委員会より

交通安全。まずシートベルトから。

(株)加藤青藤会の発足は、昭和四十七年二月から始まり現在までの十四年間続いております。これも会員皆様の御理解と御鞭撻があったから、やってこれたと深く感謝致しております。

本会の目的でもありますが安全運転業務に必要な技術の向上とその遂行を期する為に、



太田事務局長

毎月一日に、安全運転集会を実施し、全員の協調と決意を新たに誓い合い、冬期間は、関係機関と協力し講習会を開催し目的達成に努力をしてまいりました。

それらの甲斐もあり、会員の協力も得られ、重大な人身事故は、現在まで発生しておりません。しかし現状の交通安全では、何時、重大事故が発生しても、おかしくない世です。自分が努力をしても、相手からのもらい事故で大ケガをする場合も考えられます。これからは、防衛運転も心が

け業務に当たらなければならぬのではないかと考え、青藤会では、男鹿市民のトップを切って、シートベルトの着用を励行し、現在では、モデル事業所となっております。

シートベルトは、激突の被害を軽減し運転姿勢が保たれやすいな動作を防止し注意力が集中できますから事故防止には効果的であります。

全会員のみなさん今後安全運転に努め、大切な家族を守りましょう。

ファミリー紹介



安田張幸(24才)一家

妻・伸子(22才) 長女・幸ちゃん61年1月20日生

入社して六年、建築課で一番成長したのが安田主任/入社当時、基礎工事ばかり担当になり、お陰で別名「基礎工事の安田」と言われ、この工事の段取りに関しては、彼の右に出る者はおられません。彼のスマイルは、協力業者内でも評判で、一番信頼を受けてお

(建築課 伊藤満)

がんばるマン

株式会社加藤組
土木部

高桑 広貴君

昭和39年1月2日生



東京工学院情報専門学校卒業
家族 祖父母、父母、弟2人

紹介者です。



土木課係長 石川 守

高桑君とは、土木課で一緒に仕事をしています。性格は、とてもほからかで、冗談もとてもじょうず。土木の仕事は自分の専門外ですが、知ったかぶりせず、積極的に質問をし、私らが返答に窮する様な事もあります。また、彼の行動力は抜群で、工事の完成検査の時には、機敏な動きでたいへん好感がもてます。今後とも彼のより一層の活躍を期待します。

会社に入社して3年目。徐々に、難儀がわかりかけてきました。ただ今、測量士補試験にむけて、忙しい合間をぬい、勉強しております。

加藤組のあゆみ③

〈創立から現在に至るまで〉

昭和30年代の小規模な加藤組に於いて、現在も活躍している社員は伊勢部長ただひとりだけとなった。昭和29年加藤組に入社した伊勢部長は、昭和33年より湯之尻砕石場の主任担当員として派遣された。当時は自動車の不及率も低かった為、北浦の民家に下宿し現場との往復をくり返していた。

昭和30年代の小規模な加藤組に於いて、現在も活躍している社員は伊勢部長ただひとりだけとなった。昭和29年加藤組に入社した伊勢部長は、昭和33年より湯之尻砕石場の主任担当員として派遣された。当時は自動車の不及率も低かった為、北浦の民家に下宿し現場との往復をくり返していた。

から6台の生産量であり、発破を仕かけた後、小型裂岩機を用い常用5人、失業対策人員10人、計15名程の人間で砕石の生産を続けていた。会社で使用する砕石はほとんどこの砕石場から搬出する為、日夜休むことなく労働を用いたの声をしだいに大きくなっていった。

で(北磯線)の舗装工事も手がけていた。路機材となる砕石は、当然ながら湯之尻の砕石場から、アスファルト合材は、現在の様にプラントもない時代の為、手押し式の移動アスファルトプラントが活躍していた。移動プラントは主燃料がマキであり、火を絶えず燃やしつつける事、一回の合材量は少なく生産能力が足りない事等、現在と比べると大変な気

タ・イ・ム・ス・ケ・ジ・ユ・ー・ル

5月

- 1日 青藤会安全集会
- 3日 職員会議
- 憲法記念日
- 5日 こどもの日
- 6日 立春

6月

- 2日 青藤会安全集会
- 6日 芒種
- 7日 職員会議
- 7日 加藤杯野球大会
- 8日 (中学校)

7月

- 1日 青藤会安全集会
- 2日 半夏生
- 5日 職員会議
- 7日 小暑
- 10日 土用
- 加藤組杯野球大会 (社会人)
- 23日 大暑

編集後記

もうすぐ桜前線も、秋田を通過し、春本番を迎えます。六十年代末工事完了の現場も多く、特に今年の冬は長く感じられ現場担当者は、ご苦労されたことと思います。

我社は、新入社員を迎え社屋の外壁の白いタイルも前庭の緑とのコントラストがより一層ひきたちはじめ、社内は活気と希望で膨らんでいるようです。

仕事の合間の雑談もスキーの話から草野球に変わり、外へ出かける機会も多くなりました。大いに仕事や趣味でも活躍してください。各地区の祭典や観桜会では、ハメをはずさないよう御注意願います。今年度も、各自目標を掲げワンステップ飛躍を目指しましょう。

